

いばらきストリートデザインワークショップ

ニュース #02

まち歩き、各グループでの意見交換を受けて

まち歩きで見つけたことや各テーブルで考えたことを共有した後、山口先生からコメントを頂きました。

■ 道路の活用可能性

- ・今後、道路空間の使い方が劇的に変わろうとしており、住民が道路でやってみたい活動が実現できる時代になりつつあります。
- ・小さなことでもいいので、道路でなにかできないかという意識を持つことが重要です。

■ まちなかの滞留空間

- ・茨木市のメインストリートでは、滞留できるような空間は見つからないかと思いましたが、マンションの1階部分や休業日のお店の前、また歩道の植栽帯など、可能性を感じるポイントが思った以上に見つかりました。

■ 魅力と課題

- ・自転車の通行を課題として挙げる方が多かった印象です。歩行者にとっても自転車にとっても安心できるような道路環境づくりが必要です。
- ・通りの沿道には人気のお店もあるなど、魅力も確かにあります。そのようなポテンシャルを活かして、通りの魅力的な将来像を描いていきましょう。



次回は
ココ!

今後の予定

テーマ① 通りの“ミリョク”を探しに行こう!

10月17日(日)14:00-16:00
場所▶福祉文化会館202号室

中央通りと東西通りを実際に歩いて、通りの魅力や気になるところを見つけ、共有しましょう。

テーマ② 通りの“ミライ”をイメージしよう!

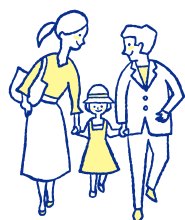
11月14日(日)14:00-16:00
場所▶ローズWAM501・502号室

歩いて見つけた魅力を踏まえ、茨木のメインストリートとして望ましい通りの姿を話し合しましょう。

テーマ③ 通りの“コセイ”を引き出そう!

12月19日(日)14:00-16:00
場所▶福祉文化会館202号室

通りの魅力を高め、個性を引き出すための具体的なアイデアを考えましょう。



次回からの参加也大歓迎!

今回のまち歩きで見つけたポイントを踏まえて、魅力的なビジョンをみなさんと一緒に考えていきたいです。

Facebook で情報発信しています

これまでの取り組みは Facebook ページにてご紹介しています。
右の QR コードを読み込むか、Facebook で「いばらきストリートデザインワークショップ」と検索してください。



参加をご希望の方は

【定員】30人 *大幅に超える場合は、抽選とします
【対象】中央通り・東西通り沿道で働いている方、お住まいの方、この取組に興味がある方
右のQRコードからお申込みいただくか、以下の内容を記載し、メールもしくはFAXにてお申し込みください。①氏名(ふりがな)②年齢③電話番号④メールアドレス

問い合わせ先

茨木市 都市整備部 都市政策課 まちづくり係
TEL:072-620-1660 FAX:072-620-1730 E-mail:toshi@city.ibaraki.lg.jp



参加申込
はこちら

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

お待ちしております

2021.11

いばらきストリートデザイン ワークショップ

ニュース #02

歩きやすく、歩きたくなるメインストリートへ!

いばらきストリートデザインワークショップとは

茨木市では、市の中心部を、より多くの人々が訪れ、滞在し、活動したくなるような“まちなか”にするための取組を進めています。
2回のミーティング(勉強会)と3回のワークショップを通して、各拠点をつなぐ“メインストリート”である中央通りと東西通りを、より魅力的な通りにするためのアイデアなどを参加者の皆さんと一緒に考えていきます。



中央通りと東西通りのまち歩きを行い、2つの通りの魅力と課題を見つけました

開催概要 テーマ①「通りの“ミリョク”を探しに行こう！」

10月17日(日)14時から、まち歩きワークショップを開催しました。
アドバイザーの山口先生からのレクチャーを参考に、4つのグループに分かれて通りを歩きました。
まち歩きを通して、中央通りと東西通りの魅力や課題、可能性等を発見することができました。

山口先生からの
レクチャーの
ポイント

■ まち歩きのポイント

- ・道路の幅員や沿道建物の用途は、通りによって様子がかなり違い、歩きやすさも違いがあります。
- ・通りの利用者は、高齢者、若者、近くに住む人や来る人など、様々な方がおられます。
- ・また、時間によっても印象が違います。平日の通勤・通学の時間か夕方かによっても印象が異なってきます。そうした様々な視点から通りを見てみましょう。



山口 敬太 准教授
京都大学大学院工学研究科

まち歩き

各通りは、JR側・阪急側でも、沿道建物の様子や植栽・緑の有無などにより、雰囲気異なります。まち歩きでは、そうした通りごとの違いや魅力、課題を確認しました。《結果は中面をご覧ください。》

■ 道路空間の印象

道路空間を魅力的にするには、道路を活用する視点も重要です。「道路をつかってどのようなことができるか」というイメージも膨らませながら歩きました。

■ 様々な利用者の気持ちになって歩いてみました

通りには様々な利用者がおられます。今回は、参加者自身の視点に加えて、様々な道具(ツール)を使い、高齢者や車いす利用者、子育て世代や自転車利用者など、様々な利用者の視点でも通りを歩きました。



車いすやベビーカー、自転車などを使い、いつもと違った目線でも歩きました。

まちあるきで見つけたもの

魅力 課題 印象

まちあるきを通して、中央通りと東西通りで見つけたたくさんの「魅力」「課題」「印象」の中から、代表的なものを紹介します。



参加者それぞれが見つけた魅力や課題を書き出しました



2つの通りにたくさんの魅力や課題が見つかりました



各グループが見つけたものの発表し参加者みんなで共有しました



それぞれの通りで気づいたものを対象ごとに整理すると、以下のような項目に分類することができました。

通りの使われ方

中央通り

- ・通勤・通学で通る人が多い
- ・道行く人が前しか見ていない
- ・バスなどの車通りが多く、歩道が狭いため圧迫感がある

東西通り

- ・坂道のところで、歩行者や車椅子の人はしんどくなり、自転車は下りでスピードを出し過ぎる

1階部分の様子

全体

- ・良いお店が多い一方、立ち止まったり立ち寄れるようになっていない
- ・マンションの1階が寂しい印象があり、店舗になれば更に良くなる

東西通り

- ・看板が少なく、落ち着いた
- ・クリニックなど、休日はシャッターが閉まるテナントが多い

道路の附属物（植栽やベンチなど）

全体

- ・立ち寄って休めるような休憩スペースやベンチがあつたらいい
- ・バス停に座るところがない

東西通り

- ・緑が多く、花もあると一層良くなる
- ・道路が広く開放感がある
- ・歩道の植栽が大きく、一部で道が狭くなっている

自転車での通行

中央通り

- ・交通量が多く、走るのが怖い
- ・車の路上駐車が邪魔
- ・沿道に駐輪場がない
- ・自転車がどこを走つたらいいのかわからない

東西通り

- ・幅員が大きいので、走りやすい
- ・自転車目線では、低い緑は目に入らず、高い木の緑を感じることができる

建物のデザイン ポリウム感

全体

- ・商業地域なので今後は高層化していくのかもしれない
- ・外に対して開いているお店が多い

中央通り

- ・魅力的な和風の家屋が残っている
- ・建物の新旧の差が激しいなど、統一感がない